(様式第３号)

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

作成日：令和　３年　９月　１０日　　企業･団体名：有限会社　藤中電設

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場･社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		採用面接時等、出身地や年齢による差別なく、本人の意欲や技術を重要視して採用考査を行うとともに、社内においても定期的な勉強会を開催し、教育体制を整える。				4.4	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール･教育･相談体制を整備している	●		パワハラ防止の意識啓発教育をするとともに、社内における円滑なコミュニケーションを活性化し、世代を超えた交流を生み出す機会を作る。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3	【ワークライフバランス】 ・男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		柔軟な有給休暇の取得を始め、家族の体調や環境にも配慮し、積極的な休暇取得や休暇を取得しやすいような環境づくりに配慮している。								8.5 8.8									
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		外国人労働者がいないため該当なし。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	5	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		定期的な定例会をはじめ、それをフォローする社内報の発行、毎朝の朝礼や午後の作業開始前に行う昼礼などを取り入れ、社員に注意喚起を行っている。			3					8									
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		社員のメンタルヘルス疾患の予防と早期発見のため、今後カウンセラーによるメンタルヘルスケアの実施等を含めて検討を行う。			3														
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		定年後の再雇用制度を含め、高齢者でも無理なく働いてもらえるように予定や職種に配慮した計画を実施している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		社員の資格取得を応援し、取得費用の全額負担や社員個人による取得資格の選択など、個性に合わせた能力開発を行い、定期的に勉強会を開催し社内教育を行っている。				4	5.5			8	9								
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		定年を迎えた社員に対しても、従来どおりの同一賃金で再雇用を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	10	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる		●	1年に1回の健康診断の受診と健康相談の実施を行っている。休暇についても社員の体調を考慮し、ハイパーメディカルなどの福利厚生システムも導入している。			3					8									
	11	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している		●	現場作業が多いのでテレワーク等対応が難しいが、事務作業等では導入しているマスクを支給することによって着用を徹底し、消毒剤も備えている			3					8	9.1		11	12					
	12	【デジタル化の推進】 ・労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ･アフターコロナ時代における社会･経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している		●	社内のDX推進により、ペーパーレス化や業務データのクラウドサーバーへの保存、LINEワークスを使用した社内コミュニケーションなど積極的に取り組んでいる。								8	9.1		11	12					
環境	13	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		エコアクション21の認証等、社内の廃棄物の減少に取り組んでいる。また、工事で発生した産業廃棄物についても保管場所を明示して適切に管理する他、分別及び削減に取り組んでいる。											11.6	12.4		14.1			
	14	【エネルギー】 ・電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		営業車両としてハイブリッドカーを導入。工事車両にも尿素フリー車両を導入。また運行記録の活用として、各工事ごとのCO2排出量の算出に取り組む。							7.3						13				
	15	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		不要時の照明オフ、エアコンの適正な温度設定など社内で節電の呼びかけをすると共に、毎月の電気使用量、CO2発生量を確認している。今後は発生量の社内掲示など啓発に取り組む。							7.2 7.3					12.4	13.3				
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		法令で規制される有害化学物質は取り扱っていない。			3.9			6.3					11.6	12.4					
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		生態系に影響を及ぼさないように作業時の漏油対策を入念に行い、工事で使用する水についても環境に影響を与えないように配慮している。「いのちを守る森」への植樹協力なども実施。						6.6									15		
	18	【３Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		使用済みペール缶の再利用やリメイクなど、廃棄物に新たな使用目的や価値を付与する取組を実施。コピー用紙の再利用やペーパーレス化にも取組み、排出量を減らす。												12.5		14.1			

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる		●	自社事業として、水力発電所のメンテナンスや電力託送設備の工事など行っている。社内でCO2排出量を共有し削減への取組を行う。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる		●	社内における節水の呼びかけを実施するとともに、水使用量を確認している。今後は確認した情報を社内に共有し削減にむけた計画を作成する。						6.4 6.6											
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している		●	2017年よりエコアクション21の認証制度に登録し、毎年環境経営レポートを発行している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している		●	自社ホームページにおいて、環境経営レポートを公開。現在リニューアルを検討中であり、今後はSDGsに関する取組も掲載していく。												12.6					
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる		●	ENERGY STAR機器の導入、PCの省電力設定、省エネ機材を使用推進している。							7.2						13				
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●													12.2	13	14	15		
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●		1	2				6.4						12.3 12.5		14	15		17
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●		社内コンプライアンスの周知など、機会をみて社員に周知している。今年度内には経営指針書を作成し社内に配布などコンプライアンスの徹底をはかる。																16 16.5	
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		社内コンプライアンスの周知など、機会をみて社員に周知している。今年度内には経営指針書を作成し社内に配布などコンプライアンスの徹底をはかる。																16	
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●		社内コンプライアンスの周知など、機会をみて社員に周知している。今年度内には経営指針書を作成し社内に配布などコンプライアンスの徹底をはかる。								8.2 8.3	9								
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		社内コンプライアンスの周知など、機会をみて社員に周知している。今年度内には経営指針書を作成し社内に配布などコンプライアンスの徹底をはかる。																16	
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		●																	16	
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
製品・サービス	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●		作業場所の安全パトロールを実施するとともに、社内で発生したヒヤリハットの共有と管理を行い、定例会においてその対策などを協議している。また客先指導のもと毎日のTBM-KY活動を実施している。			3.9									12.4					
	33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●		作業手順と基本ルールの遵守を徹底し、作業寸法の確認及び施工後の確認試験を実施している。社内においては施工方法について活発に協議を行い、次工事にノウハウを展開している。									9								
	34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●		社内で使用する文房具については、グリーン購入の物や再生紙を使用している。						6						12	13	14	15		
	35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している		●	自社倉庫の床等に木材を使用。今後のリフォームについては県産材の使用も検討している。						6.1 6.6	7				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●	自社の持てる技術と知識を活用して、今後社会的課題を解決できるようなサービスを現在模索している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		地域の清掃活動を始め、交通エコポイントの寄付や「おらんくのストップ温暖化宣言」など地元地域に貢献できる活動に積極的に取り組む。				4					9		11	12		14	15		17
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●	地域の次世代を担う人材との交流、地域の清掃活動、エコポイントへの寄付、マイバッグ促進キャンペーンに参加し、マイバッグの励行等多岐にわたり行っている				4							11			14	15		17
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の木材等優先的に使用促進している(使用木材は再利用に努めている)		●	高知県産の木材等優先的に使用促進している(使用木材は再利用に努めている)								8	9		11	12					
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		社内コンプライアンスの周知など、機会をみて社員に周知している。今年度内には経営指針書を作成し社内に配布などコンプライアンスの徹底をはかる。																16	
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		自社経営理念および10年計画、年間目標を社員と共に作り、社内に積極的に共有している。今年度内には経営指針書を作成して社内に配布し、理念浸透に務める。								8	9								17
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		総務部と工事部の有志によりエコアクション活動に取り組むチームを作成して、社内で率先して取り組んでいる。																16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		客先及び取引先など利害関係者とは積極的に協議または対話を繰り返し、自社の技術と知識を持って利害関係者の未来も豊かにできるように心がけている。																16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●																	16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●	自社による安全パトロール及び客先主催の安全パトロールに積極的に参加し、作業現場における法令遵守や労働環境の調査及び改善に取り組むと共に、必要に応じて定例会や社内報を活用している。																16	
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●																	16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる		●	事業継続計画（BCP）を策定。社内においても事業継続マネジメント（BCM）担当者を決めると共に、中小企業庁の「事業継続力強化計画」にも取り組む。									9		11		13 13.1			16	
	48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		社内備蓄品の管理、周辺避難場所の確認だけでなく、長期工事においては工事現場周辺の被害想定と避難場所を調査し、すぐにマップで確認できるようにQRコードを記載した避難計画書を掲示している。				4							11.5		13.1			16	
	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている		●	治水設備（ポンプ場または水門）の整備事業を実施。出水時には現地での対応も実施している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●	社内定例会においてSDGsの勉強会を実施。自社事業だけでなく地域貢献や社会貢献に対しても普及啓発活動を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、UIターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している		●	地元高校や職業訓練校への積極的な採用活動を実施。就職説明会や職場見学会にも対応できる体制を整えている。				4.4				8.5 8.6									17
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している		●									8	9		11						